

巻頭言

湘南鎌倉医療大学は、“生命だけは平等だ”という理念のもとに、いつでもどこでも誰でもが、最善の医療・ケアを受けられる社会の構築を目指し、日々研鑽する医療人を育成することを建学の精神として、2020年4月1日に開学しました。今年で4年目に入り、大学1年生から4年生まで、約400人の学生が学ぶ大学として成長してきました。加えて、2022年4月には、理念の実践・研究を進めるべく、さらに深く学び、研究される志を有する方々のために、大学院を開設しました。

こうした中で、学生に対する教育のみならず、実践してきた研究の成果を発表する場として、大学の学術誌“湘南鎌倉医療ジャーナル”が創刊され、2022年3月に第1巻1号が発刊されました。年1回の発刊のため、本号は第2巻1号にあたります。今号は、初めて原著論文を掲載することができました。このジャーナルが創刊された時点では、まだ大学院は創設されておりませんでした。今後は、学生や大学院生をはじめ、教員の皆様や、臨床の現場におられる多くの方々からの研究成果の発表の場として、このジャーナルが活用されるものと期待しています。

湘南鎌倉医療大学は、現在の看護学部に加えて、今後、新しい医療関係の学部を増設したいと考えています。大学と臨床現場が一体となって、充実した教育・研究の場を創設し、その多くの成果がこのジャーナルに掲載されることを期待しています。

湘南鎌倉医療大学 理事長
福島安義